

東邦銀行におけるITの戦略的活用について



平成19年2月2日

東邦銀行



当行の概要



本店所在地	: 福島県福島市
設立	: 昭和16年11月4日
店舗数	: 本支店115か店
資本金	: 186億円84百万
預り資産	: 約2兆9千億円(平成18年3月末)
貸金	: 約1兆9千億円(平成18年3月末)
自己資本比率	: 10.61%(平成18年3月末, 単体)
行員数	: 1,916名(平成18年3月末)
顧客数	: 約280万



主な内容

I. 当行システムの全体像

- 勘定系システム、情報系システム、サブシステムの全体構成

II. 当行のシステム戦略の基本方針

- 勘定系システムに求めるもの
- 情報系システムに求めるもの

III. 勘定系システムの概要と活用事例

- 共同化システム「PROOBANK」の採用
- 非対面チャネルの機能拡充
 - ・コンビニATMの24時間365日完全連続運転
 - ・インターネットバンキングの機能拡張

IV. 情報系システムの概要と活用事例

- 基幹情報系システムの概要と本部・営業店での活用事例
- 情報系システムとサブシステムの連携事例
 - ・テレフォンバンキング、テレマーケティング
 - ・渉外支援システム
 - ・融資業務支援システム

V. 最後に

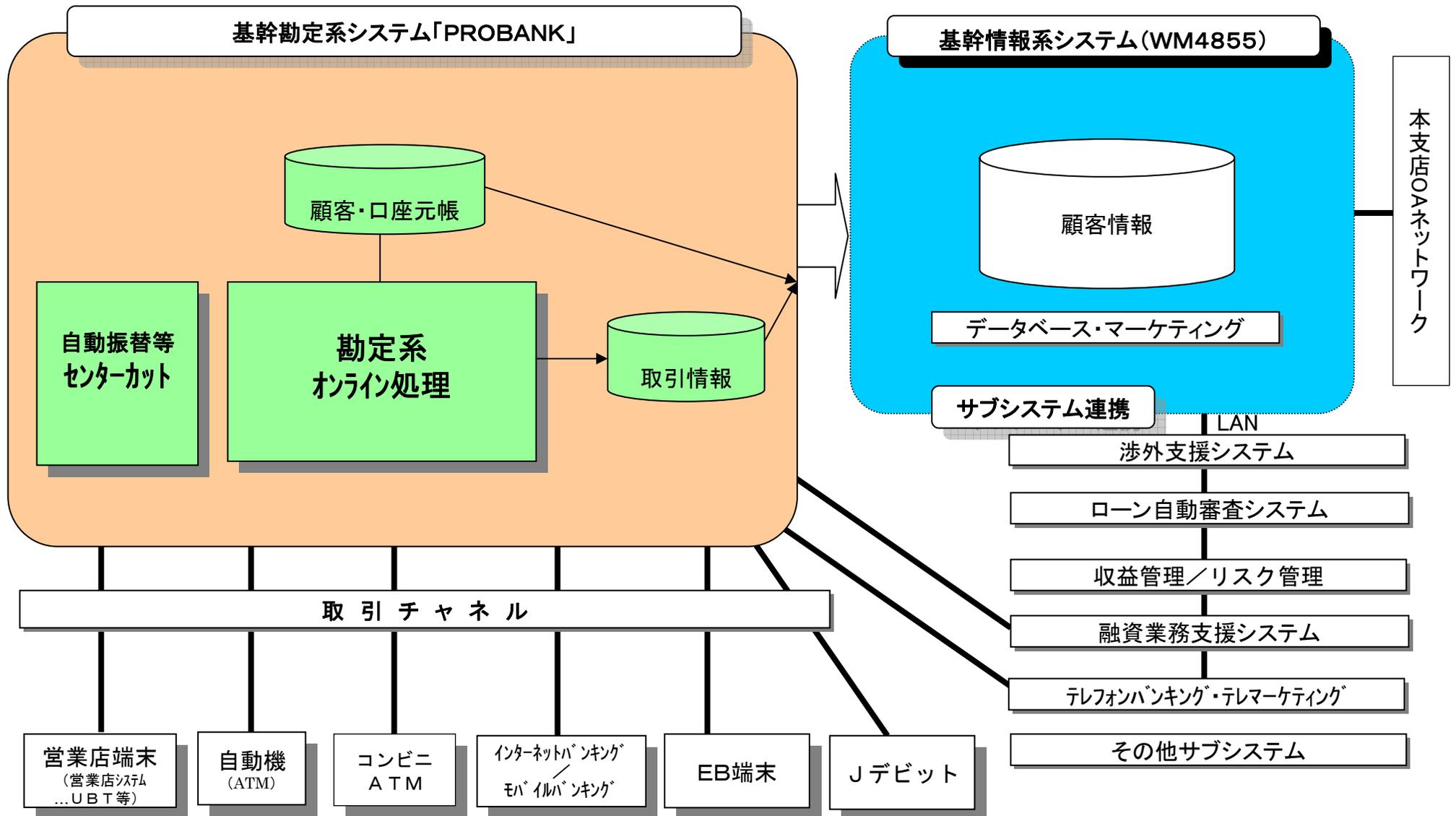
IT投資に対する効果検証の重要性



I. 当行システムの全体像



当行システムの全体像

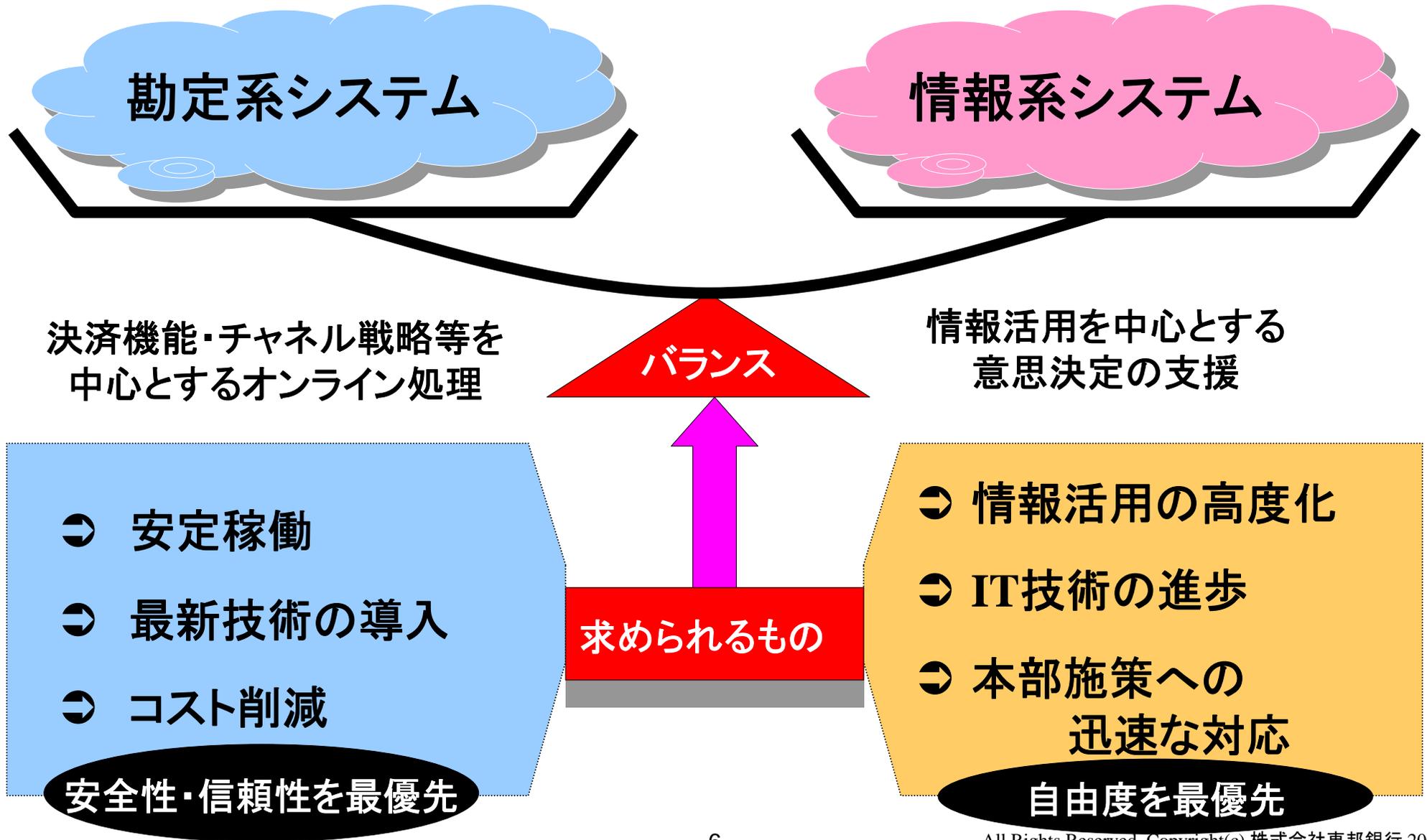




Ⅱ. 当行のシステム戦略の基本方針



当行のシステム戦略の基本方針





共同化システム「PROBANK」の採用

2000年2月、次期勘定系システムに対する当行と富士通社の考え方が合致したことでプロジェクトはスタート。



- 勘定系システム更改時期の到来
- 24時間サービス等最新機能を備えた勘定系システム採用
- 共同システム利用によるコスト削減の実現
- コア業務への経営資源集中によりお客様の信頼と期待に答える



FUJITSU

- 今後の地方銀行の戦略的IT活用の基盤となる勘定系システムの新規開発
- 開発から運用までをトータルに提供するアウトソーシングサービスの実現
- 共同化アウトソーシングサービスによるコスト削減

- 次世代勘定系システム「PROBANK」構築
- 「PROBANK」による東邦銀行勘定系システムのアウトソーシング

コスト削減ニーズ/
要員面の課題
(高齢化、長期在籍)

- ・コスト削減については、ほぼ予定通りの削減効果を実現(自営に比べ年20%程度の削減)
- ・コンビニATMの24時間365日ノンストップ稼働など当初予定通りの新機能を実現

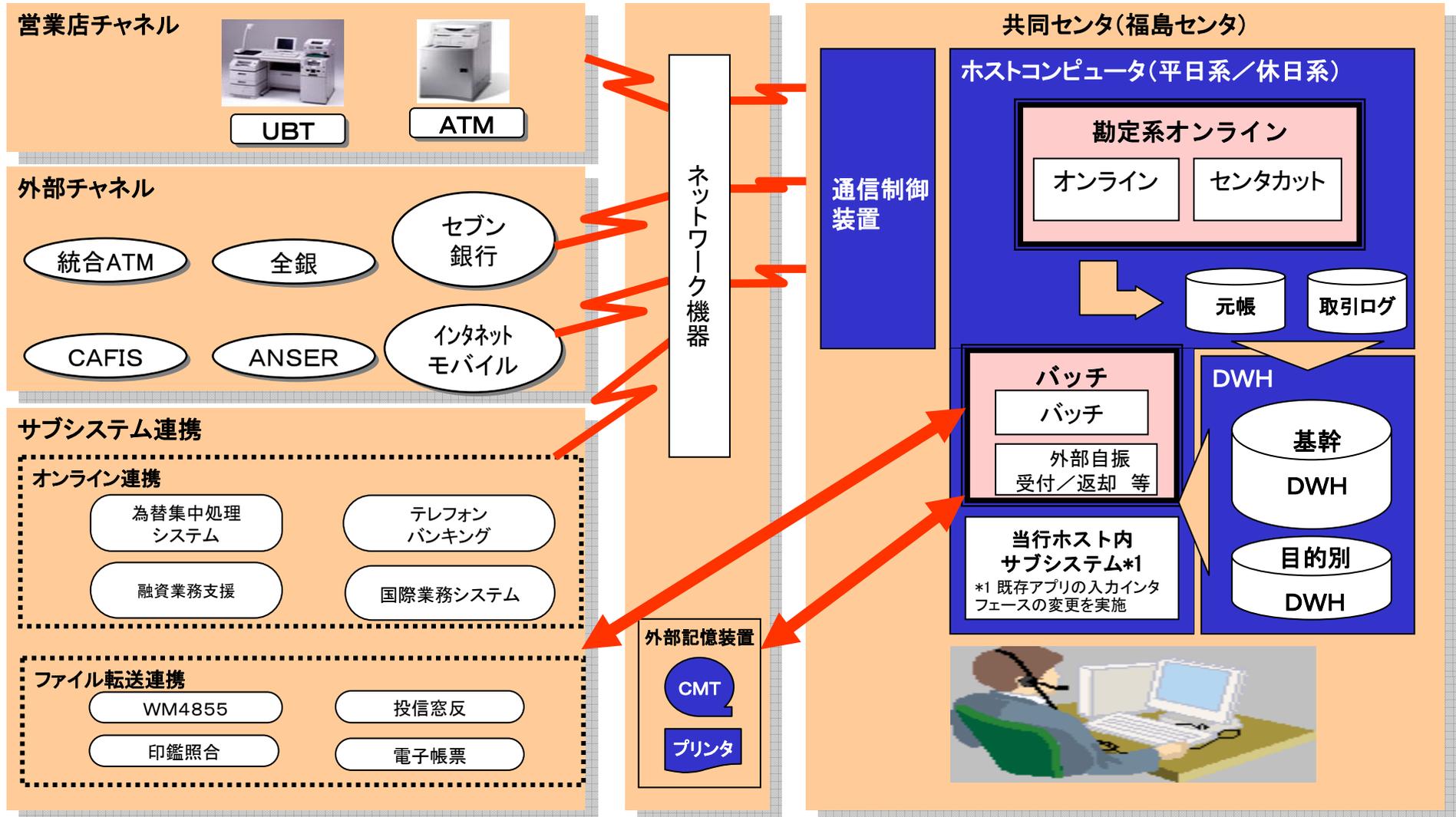


Ⅲ. 勘定系システムの概要と活用事例



勘定系システムの概要

 オンライン連携
 ファイル転送連携





非対面チャネルの機能拡充

○コンビニATMの24時間365日 完全連続運転

- ・県内約370台、全国約12,000のコンビニATMで24時間365日ノンストップのサービス提供

○インターネットバンキングサービスの機能拡大

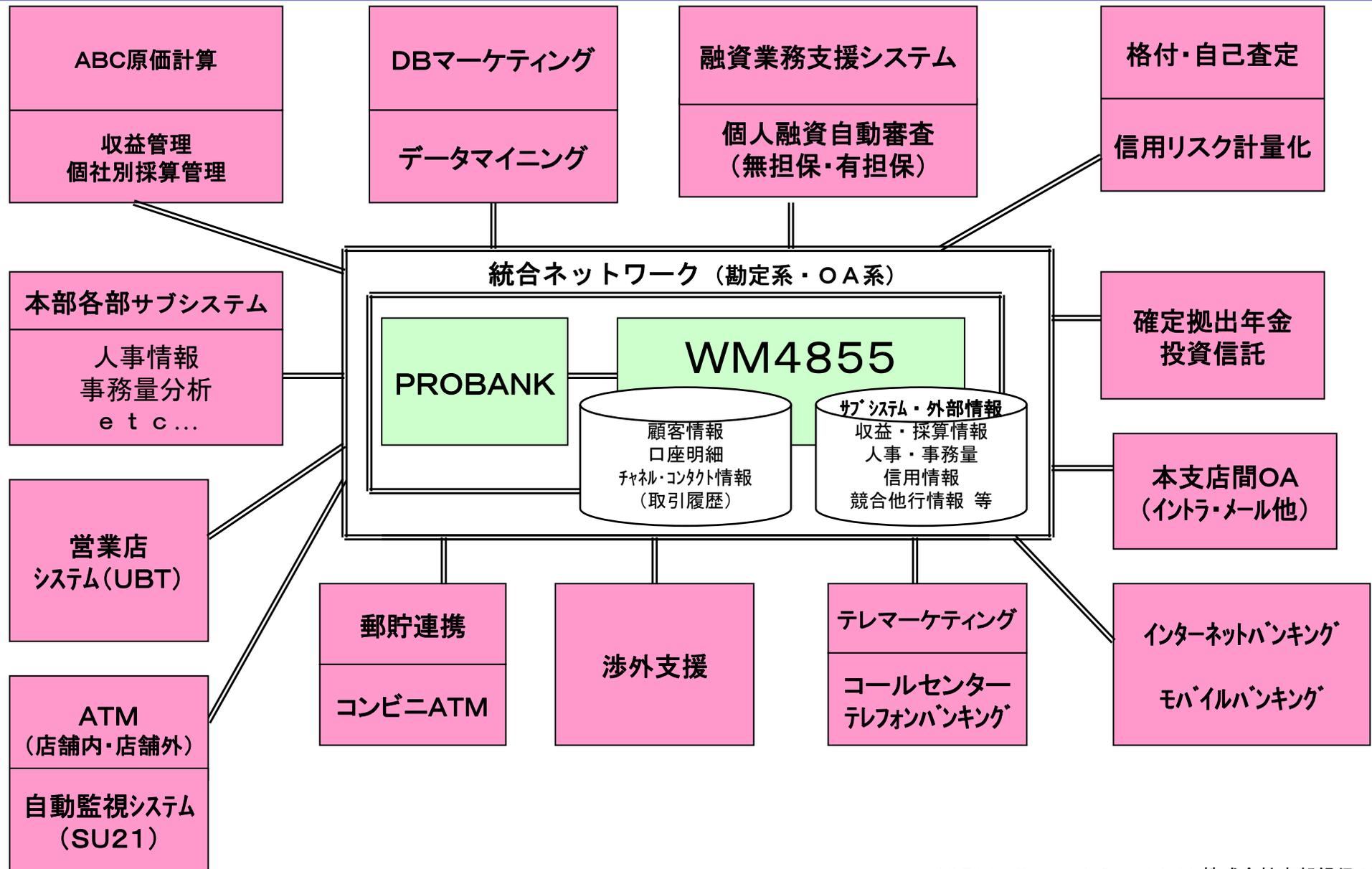
- ・24時間受付(残高照会、明細照会、振込、振替)
- ・投資信託の購入
- ・ローン申込サービス
- ・インターネットバンキングサービスのネット受付



IV. 情報系システムの概要と活用事例



戦略的情報システム構成図 (主なサブシステムを掲載)





最後に

○IT投資効果の検証

PDCAサイクルの実践 → 作りっぱなしではダメ

○限られた経営資源の有効活用



こころときめいて、

くらしかがやいて。

東邦銀行

ご静聴ありがとうございました。

事務本部システム部長

高橋邦尚